

タイ王族が沖縄番組

タイ国営放送の海外旅行番組「デイアオラマイ タイランドワールド」が2018年2月中旬、沖縄美ら海水族館やビーチなどの県内観光施設を紹介する特集番組を放送する。番組のリポーターを務めるタイ王族のナムブン妃殿下が12月8日に来沖して同15日まで撮影する。タイ国内ではあまり知られていない沖縄の歴史や文化、観光地を紹介することで、タイからの新たな観光誘客効果が期待される。

①タイの国営放送・旅行番組のリポーターとして来沖するナムブン妃殿下（エドワードペンシル提供）②エドワードペンシルの上野秀織氏（右）と鈴木正一郎氏＝18日、那覇市天久の琉球新報社



エドワード社 12月来沖、魅力発信

所などを調整しているエドワードペンシルの上野秀織取締役企画本部長や、同社企画推進事業部の鈴木正一郎氏が18日、那覇市天久の琉球新報社を訪れ、番組について紹介した。

タイ・バンコク―那覇間を1日1往復する航空便が2月中旬に就航したことに伴い、タイから沖縄を訪れる人は今年3月に約3200人となり、前年同月比で約5倍に増えた。

上野取締役は、タイ人の訪日客が日本に興味を持ったきっかけは「テレビ番組や映画」が多いと指摘した。その上で「（タイの人々に）沖縄の魅力が伝わっていないために、県内を訪れた場合でも滞在人数が少ない。（番組を通し）タイの人に沖縄について知ってもらい、観光客を増やして経済活性化につなげたい」と語った。